



酒田市美術館
**収蔵
品展**



高橋剛《夏の川》1990年

アートで巡る四季のうつろい

2025

1.25(土) - 3.9(日)

9:00 - 17:00 (最終入館は16:30まで)

- ◎休館日：月曜(祝日の場合は翌日)、2月11日(火)～14日(金)
- ◎観覧料：一般700円(560円)、高校生350円(280円)、中学生以下無料

※()内は20名以上の団体料金。

※障がい者手帳をお持ちの方、およびその介助者1名の観覧料は半額となります。

◎主催：公益財団法人 さかた文化財団 酒田市美術館

毎週水曜日は「こどものじかん」

毎週水曜日は市内小学校のスクールプログラムの日です。展示室で子供たちがおしゃべりをしたり、スケッチをしたりして作品を鑑賞します。また、会場内に音楽が流れ、お子様連れのお客さまも安心してご鑑賞いただけます。

※受付でベビーカーも貸出可能です。お気軽にお申し出ください。



酒田市美術館収蔵品展

アートで巡る 四季のうつろい

当館の収蔵品の中には四季を感じられる作品が数多くあります。

日本は世界的に見ても、四季の移り変わりがはっきりしている国です。また、日本の四季の魅力は、季節ごとに咲く花の種類の多さ、植物の色の移り変わり、旬の野菜や果物、海鮮など、全ての五感を使って四季の移ろいを楽しめることにあります。

芸術家は四季をどのように感じ、どのように表現しているのでしょうか。

本展覧会では洋画、日本画、彫刻、工芸、写真など幅広い分野の作品を展覧します。

絵のなかに、彫刻のなかに、写真のなかに、それぞれの「四季」を探してみましょ。

関連イベント

美術館 de ぬいぐるみお泊り会

お気に入りのぬいぐるみが美術館を探検。お泊り会の様子は美術館公式Xで随時公開します。お迎えの日は皆でそれぞれのぬいぐるみが気に入った作品を鑑賞します。

お泊り会隊長／致道博物館のドナちゃん（ぬいぐるみ）

お預かり／2月9日（日）11:00

お迎え&鑑賞会／2月16日（日）14:00

定員／各回5名（1人一体まで）

費用／500円

対象／どなたでも（小学生は保護者同伴必須）

参加条件／ぬいぐるみの大きさは15cm～30cm程度。ぬいぐるみと1週間離れても大丈夫なこと。お迎えの日には必ず迎えに来てくれること。

申込み／往復はがきに必須事項と返信用に宛先をご記入の上、酒田市美術館「ぬいぐるみお泊り会」係（〒998-0055 山形県酒田市飯森山3丁目17-95）まで。応募多数の場合は抽選。1申込につき一人まで。締切は1月27日（月）必着。

【必須事項】

- ①参加者の氏名（フリガナも）
- ②郵便番号、住所
- ③電話番号（イベント実施日に連絡がつく番号）
- ④年齢
- ⑤ぬいぐるみのお名前

【手話通訳付き】学芸員によるギャラリートーク

日時：2月23日（日）14:00～ ※申し込み不要

費用：無料（但し、要観覧券又は年間券）



春 佐藤公紀《春光》
（新田嘉一コレクション）



夏 國領経郎《潮溜》1996年



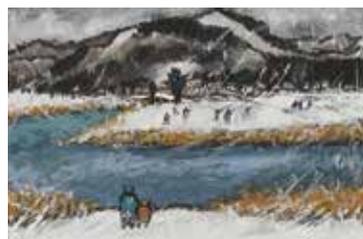
冬 斎藤長三《冬(村落)》1958年
（岸田隆コレクション）



夏 佐藤昌祐《影》1986年



秋 青野恭典《雨のしずくに》2017年
©Hatsuko Aono



冬 斎藤正治《酒田シリーズ1月1日》
1984年

次回特別展予告 作家生活20周年記念

コニドウマキの おしごと展

～「リラックマ」「うさぎのモフィ」から
「ゆめぎんこう」まで～

3月15日（土）～5月11日（日）



『リラックマ ここにいます』主婦と生活社 2015年
©2025 San-X Co., Ltd. All Rights Reserved.



『ゆめぎんこう』白泉社 2020年
© aki kondou

【交通案内】

- ・JR東日本酒田駅
/乗合バス20分・タクシー10分
- ・庄内空港/タクシー20分
- ・日本海東北自動車道酒田ICより6分
- ・駐車場/無料駐車場有(120台収容)



Sakata City Museum of Art
酒田市美術館

〒998-0055 山形県酒田市飯森山3丁目17-95
TEL:0234-31-0095
https://www.sakata-art-museum.jp/



HP



X (旧Twitter)

最新情報を配信中!
ぜひフォローください!